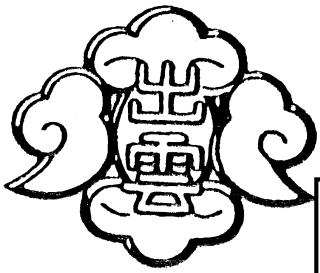


令和6年度 大田区立出雲小学校学校経営計画

令和6年4月1日
大田区立出雲小学校
校長 関 真理子

【長期的目標】自己の豊かな能力や個性を実現させながら、よりよく考動し、社会の創り手を育てる — 笑顔とあたたかさあふれる出雲小学校 —



大田区教育大綱・おおた教育ビジョン

- ・基礎学力を習得する
- ・豊かな情操と公共の精神を養う
- ・健やかな身体を育む
- ・心豊かに生活できる地域社会を実現する教育
- ・人権教育の推進
- ・確かな学力

<児童の現状>

- 元気よく遊ぶ ○人なつこい ○明るい
- 素直 ○優しい ○試行錯誤する熱意
- <課題> ○基本的生活習慣の定着(挨拶・忘れ物・時間厳守・公共マナー)
- 自己肯定感の向上 ○家庭学習の習慣化
- 自主性、主体性の向上 ○読解力の育成

具体的な教師像

- ・公務員・組織人としての使命感と責務を自覚し、服務の厳正に努める教職員
- ・教育に対する熱意と使命感をもつ教職員
- ・豊かな人間性といやりがある教職員
- ・実践的な指導力がある教職員
- ・専門性を高めるために研鑽を積む教職員

い

いつも、
どこでも、
チャレンジするこども

学びあう

自己の将来を見据え、自ら進んで学び続ける児童の育成

- ・一人一人の課題に応じて、知識・技能を活用する力、思考力、判断力、学習意欲の伸長
- ・各教科の基盤である言語能力を育成
- ・表現力・伝える力の向上を推進

知恵と創造で未来を創り出す

論理的・科学的に思考し、新たに考えを創造することができる

す

ずっと、
なかよし、
やさしいこども

助けあう

高い規範意識をもち、自ら考えながら適切な判断をすることができる

- ・生活規律の徹底
- ・相互信頼の精神の育成と人権教育の推進
- ・自他の違いを認め、仲間として生きる態度を養う行事、班活動、清掃活動の実施
- ・近隣中学校との小中一貫教育を通して、きめ細かい生活指導、キャリア教育の実施

高めあう

実践力をもち、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける

- ・重点指導事項により、体力を向上させ運動に親しむ態度を養う機会を定期的・日常的に設定する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ・体力向上プログラムの活用
- ・家庭とともに、運動習慣、生活習慣づくり

も

もりもり、
わくわく、
きたえるこども

- 目指すこども像**
- 「未来づくり」に熱中できるこども
 - 試行錯誤しながら、納得解を見付けることができるこども
 - 様々な人々と関わりながら、よりよいものを創造するこども

1・2年 基礎・基本の習得

- ものつくることを楽しみながら、すくんで取り組むこども
- くふうしながら未来づくりに取り組むこども
- 友達や未来づくりに携わる人々とのかかわりを通し、お互いのよさを見付け合うことができるこども

3・4年 基礎・基本の定着

- 未来づくりに携わる人々の工夫、努力、喜び、苦労を知り、未来づくりを楽しむことができるこども
- 学習したことを活用して、イメージしたことを試行錯誤しながら表現できるこども
- 友達や未来づくりに携わる人々とのかかわりを通し、自分たちには何ができるか考えることができるこども

5・6年 基礎・基本の活用

- 未来づくりに携わる人々の工夫、努力、喜び、苦労を知り、それを自分自身の未来づくりに生かすことができるこども
- 必要な情報・知識・技能を選択・活用し、試行錯誤しながら表現できるこども
- 友達や未来づくりに携わる人々とのかかわりを通し、自分自身の生き方や考え方を構築できることも

5組

- 未来づくりに携わる人々と共に、友達と協力して、未来づくりを楽しむことができるこども
- 日常生活に必要なスキルを身に付け、工夫しながら未来づくりに取り組むこども
- 友達や未来づくりに携わる人々とのかかわりを通し、一人一人の心身の特性に合わせ、自分なりに形にできることも

上級学校へ

保育園・幼稚園連携

<経営の重点>

- (1) 基礎学力の定着と授業改善・工夫
 - 各種学力に関する調査結果分析・考察
 - 指導方法工夫改善加配教員による習熟度別少人数指導
- (2) 組織の活性化と円滑な学校運営
 - ・校務を整理し、ミドルアップダウン体制による組織運営を目指す—「学びの部屋(若手研)」
 - ・各部署の機能と責任の明確化
- (3) 児童の安全確保
 - ・危機管理体制の確立と危機管理マニュアルに基づいた組織的な取組
- (4) 学校経営計画に基づいた適切な予算編成と執行
 - ・必要性、緊急性、優勢性を考慮した予算執行
 - ・予算執行状況等で執行状況を把握
- (5) 家庭・地域との連携
 - ・学校情報の提供
 - ・教育活動への協力と参加
 - ・外部評価を生かした教育活動
 - ・関係機関との連携強化
- (6) 教育公務員としての自覚と誇り
 - ・服務の厳正
 - ・使命感と責務の自覚

<実務・実的な組織と学校運営の改善と工夫>

令和6年度より文部科学省教育課程特例校指定校
大田区教育委員会 R4・5・6年度教育研究実践校
大田区独自教科「おおたの未来づくり科」に特化した教育課程の推進

【研究テーマ】

- 「未来を創り出す力の育成
—みんなで創造するおおたの未来づくり科—」
- 地域人材・地域環境を生かした学習:企業連携
 - ・STEAM教育として、伝統・科学・イノベーション・SDGs・商品開発や地域の創生 等
- 論理的な思考を高める
 - ・系統的・継続的な言語技術の育成
- 科学的な思考を高める
 - ・東大CASTによる科学(化学・物理等)実験
 - ・IZUMO SCIENCE SHOW(科学への興味関心を向上)
- 学習習慣の基盤づくりの推進と定着
 - ・家庭とともに生活リズムカードで生活習慣、学習習慣を定着
 - ・自己点検票による授業改善(毎週末)

<指導の重点>

- 【基礎的・基本的には学力の定着】
- 学習規律の徹底 ○授業時数の確保
 - ICT機器の活用 ○言語技術の育成
 - 指導システムの活用(習熟度別少人数指導、教科担任制、ステップ学習)
 - 平日補習教室(年11回)科学的思考力の向上
 - 夏季休業面談時に学習定着状況の把握・家庭学習の支援 ○検定等への参加
 - 主体的・対話的で深い学びの実現
 - 体験的な学習や問題解決学習の工夫
 - 特別支援教育の充実 ○地域に学ぶ学習の展開(フィールドワーク、HIC、町工場、各種学校等)

<指導の重点>

【豊かな社会性・人間性の育成】

- 生活規律の徹底
- あいさつ運動月間
- ・主体的な自立的活動の推進:地域清掃など
- 生活基本調査
- こどもの心のサポート月間、ふれあい月間
- OSCとの全児童面接(いつでも相談できる体制)
- 相互信頼の精神の育成と人権教育の推進
- 近隣中学校との小中一貫教育を通して、きめ細かい生活指導、キャリアノートを活用したキャリア教育の実施
- 縦割班活動・遊び(全校遠足等)、きょうだい班活動(5組)

○「Bousai DAY(防災デー)の取組:町会・PTA・CS・学校が防災について考える日を設定

- 家庭、地域、関係機関との連携強化

- 地域人材、地域教材の活用

【体力の向上、健康の保持増進】

- オリンピック・パラリンピック教育
- 体育科授業の充実
- 体力テストの分析
- 運動習慣の定着
- 独自の取組「一校一取組」「一学級一取組」
- 健康教育の充実
- 食育
- アレルギー対応

【CS(コミュニティスクール)の推進】

- 【学校運営協議会】: 令和型教育の推進
【地域学校協働本部(スクールサポート出雲)】
【PTA】こどもたちの健やかな成長のために、教育活動への理解と協力・支援